

2020年1月27日

各位

株式会社九電工

木質バイオマス発電所統括会社の共同設立について

株式会社九電工（代表取締役社長：西村松次）は、山下ホールディングス株式会社（代表取締役社長：山下壽）、株式会社キューコーリース（代表取締役社長：久木元孝行）と3社共同出資により、宮崎県児湯郡に拠点を置く木質バイオマス発電所を統括する、株式会社森林パワーホールディングス（代表取締役社長：山下壽）を2019年12月10日に共同設立いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業概要

- 宮崎県児湯郡に拠点を置く木質バイオマス発電所（㈱宮崎森林発電所、㈱グリーンバイオマスファクトリー、㈱川南バイオマス発電所）を統括する。
- 宮崎県内の山林で利用されていない林地残材を主燃料として発電を行う。
- 2023年に発電開始予定の㈱川南バイオマス発電所を含め、合計定格出力は17,250kW/hとなり、燃料使用量は年間216,000tとなる。

企業名	株式会社森林パワーホールディングス		
所在地	宮崎県児湯郡川南町		
代表者	代表取締役社長 山下壽(山下ホールディングス㈱代表取締役社長) 代表取締役副社長 城野正明(㈱九電工 取締役専務執行役員)		
子会社名	㈱宮崎森林発電所	㈱グリーンバイオマスファクトリー	㈱川南バイオマス発電所
定格出力	5,750kW/h	5,750kW/h	5,750kW/h(予定)
発電量	39,000kWh/年	39,000kWh/年	39,000kWh/年(予定)
発電開始	2015年3月	2015年2月	2023年6月(予定)
発電所所在地	宮崎県児湯郡川南町	宮崎県児湯郡都農町	宮崎県児湯郡川南町

2. 事業目的

SDGsやRE100などの脱炭素化に向けた取り組みが世界的な潮流となっている中、国内においても経済産業省が掲げる第5次エネルギー基本計画において、木質バイオマス発電は安定的に発電を行い地域活性化にも資するエネルギー源であり、貴重な森林を整備し林業を活性化する役割を担うことに加え、地域分散型、地産地消型のエネルギー源としての役割を果たすと示されており、再生可能エネルギーの普及に貢献していくため。

固定価格買取制度終了後も化石燃料に頼らない主力電源としてバイオマス発電の発展に貢献するとともに、新たな雇用を創出し地域の農林業と一体となって持続的な成長を図る。

以上

本件についてのお問合せ先
株式会社九電工 総務部総務課（広報）
担当：江藤・福島 電話：092-523-1691

(参考) 傘下発電所実施場所



(株)グリーンバイオマス
ファクトリー



(株)宮崎森林発電所



(株)川南バイオマス発電所
(イメージ)
2023年6月稼働(予定)